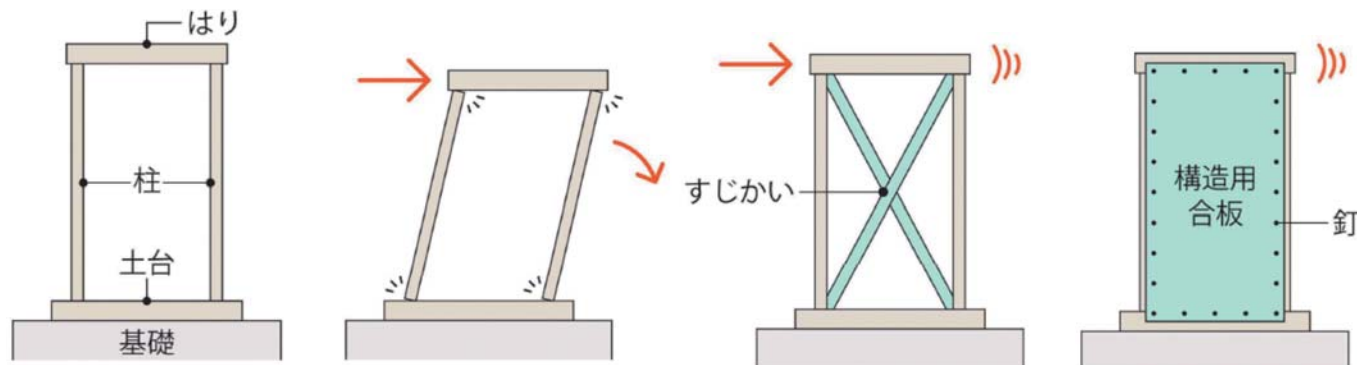


一般的な耐震改修工事

木造住宅で地震に抵抗する部分は壁です。そこで、一般的な耐震改修工事では、壁を強くする工事をします。壁を強くするためには、壁に「すじかい」を入れたり、柱とはりに「構造用合板」を釘で打ちつけたりします。



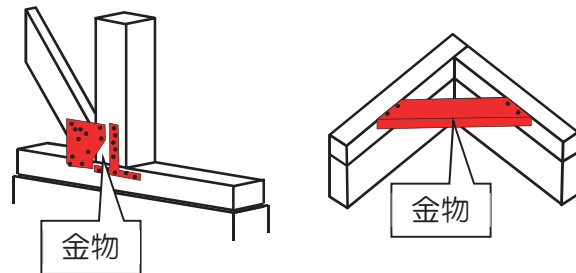
一般的な木造住宅では、基礎・土台の上に柱を立て、柱の頭をはりをつないでいます。

でも、柱とはりだけでは横からの力にほとんど抵抗できません。

そこで、すじかいを入れて端部を金物でしっかりと固定すれば、強い壁に生まれ変わります。

すじかいの代わりに構造用合板を釘で打ちつけても、すじかいと同様の効果があります。

柱が浮いたり外れたりしないよう、柱・はり・すじかい等の接合部を金物で補強します。



シェルター型工事

住宅が倒壊しても一室の安全性を確保し、命を守ることができます。



屋根軽量化工事

重い屋根を軽い屋根に変えるだけで、地震時の揺れを小さくすることができます。



防災ベッドの設置

就寝時に地震が来たとしても、身を守ることができます。



進めよう 住まいの耐震化

「川西市住宅耐震改修促進事業」のご案内



昭和56年5月以前に着工された住宅にお住まいの方へ

- 阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊・家具の転倒などにより多くの尊い命が奪われました
- 大きな被害を受けた建物のほとんどは、昭和56年5月以前に建築された木造住宅でした
- いつ大きな地震が起きても大丈夫のように、耐震改修して住宅を補強しておくことが大切です



川西市簡易耐震診断推進事業

耐震診断の結果 (木造戸建て住宅の場合)

「簡易耐震診断」の申し込み

川西市が無料で診断員を派遣します

評点 0.7 未満	評点 0.7 以上 1.0 未満	評点 1.0 以上
危険	やや危険	安全

川西市住宅耐震改修促進事業

耐震診断の結果「危険」「やや危険」の場合は・・・

「住まいの耐震化」を検討してください

「次に何を検討したら良いのか」簡易耐震診断を実施した診断員がお答えします。

一人でも多くのみなさまが耐震化に取り組んでいただけるよう、様々なメニューを用意しています。

住まいを建て替えたい方は

住まいに住み続けたい方は

耐震改修工事をしたい

高額な耐震改修工事は困難

家全体をしっかり改修したい

部分的な改修をしたい

命だけは守りたい

住宅建替補助

補助額 (定額)
100万円

住宅耐震化補助

補助額 (最大)
設計: 20万円
改修: 130万円

部分型耐震化補助

補助額 (定額)
50万円

防災ベッド等設置助成

補助額 (定額)
10万円



【お申し込み窓口・お問い合わせ先】

川西市役所 5階 住宅政策課

TEL: (072) 740-1205 (直通)

耐震改修などをされる場合、次の制度がありますのでご活用ください！

＜共通事項＞

対象者	・川西市内に対象となる住宅を所有する県民 ・所得が1,200万円以下の方（耐震改修計画策定費補助を除く） ・兵庫県住宅再建共済制度に加入している又は加入する方 （防災ベッド等設置助成事業：兵庫県家財再建共済制度も含む）
対象住宅	・昭和56年5月31日以前に着工されたもの ・違反建築物でないもの



① 耐震改修計画策定費補助

耐震改修工事を行うにあたり、設計（耐震改修の補強計画や工事額の算出）に要する費用への補助

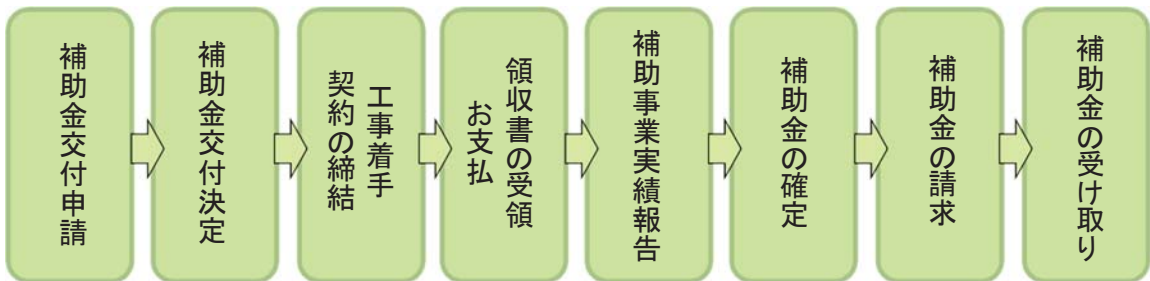
対象住宅 （※1）	耐震診断の結果、安全性が低いと診断されたもの ＜木造＞評点1.0未満 ＜鉄骨造＞Is値0.6未満 ＜（鉄骨）鉄筋コンクリート造＞Is/Iso値1.0未満
対象費用	安全性を確保するための耐震改修計画の策定（補強設計及び工事見積の作成）とそれに伴う耐震診断に要する費用
補助金額	戸建住宅：対象費用の2/3（上限額20万円） 共同住宅：対象費用の2/3（上限額12万円/戸）

② 耐震改修工事費補助

地震に対する十分な安全性を確保する耐震改修工事に対する補助

対象住宅	※1に同じ						
対象費用	耐震改修工事に要する費用（＜木造＞評点1．0以上、＜鉄骨造＞Is値0．6以上、＜（鉄骨）鉄筋コンクリート造＞Is／Iso値1．0以上）						
補助金額	戸建住宅：定額（総額が50万円未満の経費は補助対象外）						
	対象となる費用（万円）	50～	75～	100～	150～	200～	300～
	補助額定額（万円）	30	40	60	80	100	130
	共同住宅：対象費用の1/2（上限額40万円/戸）						
住宅改修業者登録制度（※2）	補助事業の対象となる耐震改修工事は、兵庫県「住宅改修事業の適正化に関する条例」に基づく住宅改修業者登録制度等へ登録し、かつ、補助実績の公表が可能である事業者との契約による工事であること。						

◇ 申請の流れ ◇



※交付決定前に契約した場合は、補助金を受けることができませんのでご注意ください。

③ 簡易耐震改修工事費補助

地震に対する一定の安全性を確保するために、耐震改修計画策定及び耐震改修工事等に対する補助

対象住宅	耐震診断の結果、安全性が低いと診断されたもの ＜木造＞評点0.7未満 ＜鉄骨造＞Is値0.3未満
対象費用	耐震診断、耐震改修計画策定及び耐震改修工事に要する経費（耐震改修工事費のみの申請も可）
補助金額	定額50万円（対象費用の総額が50万円未満の経費は補助対象外）
住宅改修業者登録制度	※2に同じ

④ 屋根軽量化工事費補助

木造住宅で非常に重い屋根（土葺瓦屋根）を軽量化する工事に対する補助

対象住宅	耐震診断の結果、安全性が低いと診断されたもの ＜木造＞評点0.7以上1.0未満
対象費用	非常に重い（土葺瓦）屋根から重い屋根（浅瓦葺等）又は軽い屋根（スレート板、鉄板葺等）に軽量化する工事及び併せて実施する耐震改修工事に要する費用
補助金額	定額50万円（対象費用が50万円未満の工事は補助対象外）
住宅改修業者登録制度	※2に同じ

⑤ シェルター型工事費補助

家屋が倒壊しても一部屋の空間を確保する「耐震シェルター」の設置工事に対する補助

対象住宅	※1に同じ
対象費用	耐震シェルター設置に要する費用（指定する工法に限る）
補助金額	定額50万円（対象費用が50万円未満の工事は補助対象外）

⑥ 建替工事費補助

耐震診断の結果、安全性が低いと診断された住宅の建替え工事に対する補助

対象者	以下のすべてを満たす県民 ・除却する戸建住宅の所有者又はその2親等以内の親族 ・新たに建築する住宅の所有者
対象住宅	以下のすべてを満たす住宅 ・昭和56年5月31日以前に着工されたもの ・耐震診断の結果、安全性が低いと診断されたもの ※1に同じ ・所有者又はその2親等以内の親族が居住するもの 新築 ・以下のすべてを満たす住宅 ・申請者が居住するもの ・兵庫県住宅再建共済制度に加入すること
対象費用	住宅の建替えに要する費用（除却のみ又は建築のみの場合は補助対象外）
補助金額	定額100万円（対象費用が100万円未満の工事は補助対象外）

⑦ 防災ベッド等設置助成

家屋が倒壊しても安全な空間を確保する「防災ベッド」の設置費用に対する助成

対象住宅	※1に同じ
対象費用	防災ベッド設置に要する費用（指定するものに限る）
補助金額	定額10万円/台（対象費用が10万円未満の場合は補助対象外）